

## 2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	しばだい こうき 柴台 弘毅
(研究テーマ名) 日本のポピュラー音楽におけるスタンダード生成過程について	
(研究活動実績) <p>報告者の研究は、博士論文の研究テーマである、日本のポピュラー音楽におけるスタンダードを対象に、事例研究を通じ生成過程の理論化を目指すものである。本年度は、日本ポピュラー音楽学会への投稿論文執筆と、ポピュラー音楽のスタンダード生成において重要な位置を占める「カバー」についての研究をおこなった。「カバー」についての研究は現在までに、①文献調査、②インタビュー調査、③2013年12月の日本ポピュラー音楽学会第25回大会における口頭発表を行い、研究基盤を固めつつある。</p> <p>■論文 柴台弘毅, 2014, 「日本のポピュラー音楽におけるスタンダード生成過程—『翼をください』を事例に」『ポピュラー音楽研究』17.</p> <p>■研究報告 「日本のポピュラー音楽における『カバー』概念の変容」, 日本ポピュラー音楽学会第25回大会(関西学院大学, 2013年12月8日)</p> <p>本年度採択されたドクター研究員プロジェクト(課題名「その歌声は誰のものか—“VocaListener”を用いた歌唱表現に関する研究—」)において、「VOCALOID」および「VocaListener」を事例に、音声合成ソフトと人間の声・身体・歌唱表現の関係の理論化を目指した。本年度は共同研究者とともに研究会の開催、実験、および研究ノート執筆を行った。</p> <p>■研究ノート 柴台弘毅, 岡田正樹, 鍾允順, 2014, 「VOCALOID/VocaListenerにおける&lt;声&gt;と&lt;身体&gt;—関連研究の動向と今後の視座—」『人間科学』80: 27-40.</p>	